

令和8年度高松市図書館評価について

◎ 高松市図書館基本方針

高松市図書館は、「“教育・文化の情報拠点”「市民に役立ち 地域に貢献する 図書館」」を基本方針に、市民の教育・文化の情報拠点として、市民の皆様にお役に立つ図書館づくりを目指します。

◎ 図書館評価取組項目(令和8年度)

【基本目標1】 ライフステージに応じた、多様な学習ニーズに応える図書館

(1) 図書館機能の拡充

- ・ 中央及び4地域館等でのネットワークの充実により、利用しやすく魅力ある図書館づくりに努めます。
- ・ 図書館が近くにない地域などに対し、移動図書館車による図書館サービスを提供します。
- ・ 市民に身近なコミュニティセンター内にある図書館分室の充実に努めます。

(2) 市民のニーズに応えることができる蔵書の確保と情報提供の充実

- ・ 市民のニーズに応えるため、効果的・計画的に資料を収集・保存し、幅広い蔵書を整備します。
- ・ 図書館ホームページの充実を図り、積極的に情報の発信に努めます。
- ・ 市広報紙への掲載や図書館広報紙の発行、本のソムリエ派遣事業などを通じ、図書館を利用したことのない人にも図書館の情報が届くように努めます。
- ・ 図書館実利用人数の増加を図るため、年齢別利用者数や利用者ニーズの把握に努め、利用促進を図ります。

(3) 乳幼児、高齢者、障がい者など、すべての市民への図書館サービスの提供

- ・ ブックスタート事業やブックスタートフォローアップ事業の充実、子育て支援コーナーの設置などにより、子育て世代への情報提供と、読書への動機づけを図ります。
- ・ 誰もが等しく図書館を利用できるよう、高齢者や障がい者に対するサービスを実施します。
- ・ 障がいのある人などが利用しやすい設備や提供体制について整備を進めます。
(高松市視覚障がい者等の読書環境の整備に関する計画(読書バリアフリー計画)を策定)
- ・ 日本語以外の言語を母国語とする市民の利用を促進するため、英語の利用案内の提供や外国語資料を収集・提供します。

【基本目標2】 子どもの読書活動を支える図書館

(1) 子どもたちの読書活動と自主的な学習活動の支援

- ・ 子どもたちのために必要な資料やスペースの整備・確保、読み聞かせ等の様々な活動の展開など、児童サービスの充実に努めます。
- ・ 子ども読書に関する意識を高め、家庭・学校・図書館での読書活動を推進するため、子ども読書まつりを開催します。

- ・ 図書館資料等を活用した調べる学習コンクールを開催します。
- ・ 中・高校生の利用を促進するため、ヤングアダルトコーナーの図書の充実や、展示等の工夫を図ります。
- ・ ビブリオバトル大会を開催します。

(2) 学校や学校図書館との連携強化

- ・ 市内小・中・特別支援学校に対し、図書館資料の団体貸出を行います。
- ・ 図書館と学校・学校図書館指導員の連携を深めるため、研修会やブロック会などに参加し、情報共有を図ります。
- ・ 市内の小学生の校外学習に役立て、図書館利用を促進するため、こども未来館学習を実施します。
- ・ 中学・高校生が作成したPOPやおすすめ本の紹介文を図書館で掲示するなど、読書意欲を高める取組を行います。

【基本目標3】暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館

(1) 課題解決に役立つ講座や展示の充実

- ・ 市民の様々な生活課題に対応する資料や情報を提供するため、ビジネス支援コーナー等の充実を図ります。
- ・ テーマ展示を充実させ、読書の楽しさを広く伝えます。

(2) レファレンスサービスの充実

- ・ 内部研修やOJTを通して、職員のレファレンス技術の向上を図ります。
- ・ レファレンスサービス事例のデータベース化を進め、過去の質問や回答など調査に役立つ情報を提供します。
- ・ 市民からの問い合わせに的確に対応できるよう、郷土資料や参考資料の積極的な収集を図ります。

【基本目標4】協働や連携で多彩なサービスを提供する図書館

(1) 市民との協働の推進

- ・ 図書館ボランティアの人材を養成するため研修会や講座を開催します。
- ・ 読み聞かせ隊Jr養成講座等を開催し、読み聞かせができる小学生を育てます。
- ・ 大型絵本の貸出を行うなど、ボランティア団体の活動を支援します。

(2) 他の機関との連携・協力の推進

- ・ 関係機関と連携し、より質の高い資料や情報の収集・提供を図ります。
- ・ 関係機関と連携し、市民の多様な学習機会の提供に努めます。